

# 令和7年度 さいたま市教育長・教育委員と直接話そう！！

## 「Meet-up@さいたま edu.」当日意見概要

NO	意見等
意見 1	<p><b>テーマ：生徒が楽しく進んで受けられる授業をしてほしい</b></p> <p>教科によっては、問題を解くなど、ただこなすだけの授業が多くなることがある。そのような授業では、授業が単調でつまらないという声も聞く。</p> <p>そこで、先生が生徒に問いかける、生徒同士で意見交換をするなど、生徒も一緒になって授業を進めている時間が大切ではないかと思っている。例えば、単元の最後にアプリを用いた簡易的なクイズやテストを行うことで、生徒が授業を前向きに楽しめたり、やりがいをもって学んだりできるようになっていくのではないだろうか。ただ板書を映しているような授業では、記憶にも残りづらいが、用具を操作したり、人と話したりする体験的な学びは記憶に残りやすい。こうした学びが増えていくとよい。</p>
意見 2	<p><b>テーマ：飛び級制度について</b></p> <p>他国では、学年に係わらず自分のペースで取り組める学びのカタチがある。日本でも、取り入れていくべきではないだろうか。人には得手不得手があり、自分も数学は自信がついてきたが、英語はじっくり学びたい。こんな風に考えている人は多いと思う。例えば、もっと学びたい子向けのコース、今まで通り学びたい子向けのコース、じっくり学びたい子向けのコースで分けることも考えられる。</p> <p>また、もっと学びたい子は、飛び級といったことも考えられる。10歳だけど中学校で、15歳だけど小学校で学ぶなど、子ども主体で学んでいけるとよい。異学年での学びの場合、年齢関係なくコミュニケーションをとる機会が生まれることや、新しい経験をすることでチャレンジ精神なども育み、さらなる成長につながっていくのではないだろうか。</p>
意見 3	<p><b>テーマ：授業について考え方</b></p> <p>自分の学年では、ほとんどの授業でタブレット端末を使うが、タイピングの速さが人によってちがい、授業についていけない人がいる。また、タブレットを使った学習では、アプリの使い方がよくわからない人もいる。アプリの使い方を学ぶ時間もあるとよい。</p> <p>授業について、妹にも話を聞いてみると、妹の学年ではプリント学習が多い様子だった。この場合、プリントをノートに貼ることが多いため、プリントを切っておく、少し大きめのノートを使用する、プリント用のファイルを配るなどの工夫をしてもらえるとよい。学年のみんなにアンケートをとると、タイピングへの悩みやPCを用いた授業の好みの差が大きい。学年が違うと、学び方もいろいろと変わる、学級によっても授業の仕方も変わるが、児童生徒の好みも聴いて、授業をしてもらえるといい。</p>

意見 4	<p><b>テーマ：授業での「グループワーク」をもっと増やしたい</b></p> <p>教室での机の配置では、先生一人と児童全員という形が多い。授業中に挙手する人も固定化している状況もみられる。算数などの授業でグループワークをするときは、普段手を挙げない人とも意見交換ができる。</p> <p>授業についてアンケートを取ったところ、グループワークが好きな人が9割いることも踏まえ、全ての授業でグループワークを取り入れてほしい。座席の配置、意見の共有方法を工夫するなどして、グループワークが活発にできると、学び合いや意見の広がりなどのメリットがあると思う。一方、話し合う時間が多くなると、授業時間が不足する可能性があるので、このデメリットを少なくできるよう授業の進め方が工夫できるとよい。</p>
意見 5	<p><b>テーマ：学校教育の中で、気になること、聴いてみたいこと</b></p> <p>以下の日頃の疑問について、せっかくの機会なので、教育委員会で働く皆さんの意見を聞いてみたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの学校でも、体育で持久走を実施している。自分の学校では、持久走後疲れて眠そうにしている人や、持久走が苦手でやりたがらない人が一定数いる。そもそも、やりたがらない人が多い持久走をやるのは、なぜなのか。また、持久走のコマ数を減らす等はできないのか。</li> <li>・部活動によっては、土日や祝日に活動をしている部もある。運動系の部活動や文科系の部活動によって活動日の種類や活動時間の幅もあると思うが、本来は休養日であろう土日や祝日を活動日とするのはどうなのだろうか。</li> <li>・今後、公立高校の入試について、面接の実施やマークシート方式に変わることについて、どういう事情で入試の方法が変わるのか。今までの学力とこれからの学力とではどのような違いが生じるのか。</li> </ul>
意見 6	<p><b>テーマ：グローバルは英語だけじゃない</b></p> <p>中学生の「外国語」の授業時数は、年間で140時間（50分の授業を140回行うことが基本）である。さいたま市の学校で行っているグローバル・スタディでは、現状として英語を中心とした学習となっている。グローバル（世界）で話されている言語は、英語だけとは言い切れないと思うので、それ以外の外国語も、第2言語のようにして学ぶ時間があるとよい。</p> <p>世界中で話されている言語を見ると、確かに英語は1番多いが、次いで中国語、ヒンディー語、スペイン語というように、世界では、多様な言語が使われており、多様な言語を学ぶことで、世界でも活躍していくのではないだろうか。</p>